

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	尼崎市立あこや学園		公表日 令和7年2月21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	14	1	・姿に合わせて、訪問先と共有し、使用している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1		・今後必要に応じて、専門職の訪問支援を実施していきたい。 ・希望数によっては職員の配置は工夫が必要。 ・訪問支援員は児童発達支援と兼務しているため、職員体制上の理由で、訪問支援の開始までに時間がかかることがある。工夫が必要である。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	3	・広くとは言えないが、書類を回覧し、共有、助言を得ている。 ・訪問後は振り返りを行い業務改善に努めている。 ・担当職員が記録を残し、全体で共有することで広く参画できている。	・保育所等訪問支援事業に関与できていない職員は、把握できていない部分がある。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・支援終了時にアンケートを実施して、保護者の意見をお聞きし、今後の業務改善に繋げている。(3) ・訪問を、行った後に保護者に電話を入れたり、懇談をして姿を共有している。	・保育所等訪問支援事業に関与できていない職員は、保育所等訪問の評価表を見たことがない。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2	・訪問支援を行った職員が今年度は1人だったため、上司に相談し、改善に努めた。 ・訪問後の懇談や、支援終了後のアンケートなどで意見をお聞きして業務改善に繋げている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	3		・第三者評価は行っていない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・専門職員による研修、ケース会議が行われている。 ・園内研修などで、保育所等訪問支援事業についての知識の向上を図る機会を設けている。(2)	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	15	0	・事前アセスメントを、保護者だけでなく訪問先にも行い、作成している。(2) ・支援開始前に保護者や訪問する施設と懇談や姿シートを作成してもらい、アセスメントが適切に行えるようにしている。また、作成前に訪問し実際に姿を見て作成にあたっている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	1	・現在、児童発達支援管理責任者が作成し、訪問している。 ・作成前に訪問して姿の共有、共通理解ができるようにして、作成を進めるようにしている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	15	0	・作成前に訪問先と話し合い、作成後に共有している。 ・訪問先の担任の先生と別途時間を取り、直接話し合いをしている。 ・こどもの姿シートの作成や、課題となっていることなどを事前に聞いて、アセスメントをしっかりと行い計画作成ができるようにしている。 ・訪問先の職員との情報共有や相談に応じている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	・担当訪問支援員、児童発達支援管理責任者、管理者で共有している。 ・訪問後には話し合いを持ち支援の共有や改善ができるようにしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	・園独自の「こどもの姿シート」を用いてアセスメントを行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1	・具体的な支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2	・担当訪問支援員、児童発達支援管理責任者、管理者で共有している。 ・訪問の経過などを共有しながら計画に沿った支援ができるようにしている。	・保育所等訪問支援事業に関与できていない職員に対し、何ケース訪問支援を行っているか、具体的にどんな支援をしているか、支援計画の内容が共有出来ていない部分がある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	・訪問時に行っている。 ・訪問前には必ず、児童発達支援管理責任者、訪問担当職員で、その日の内容の把握、支援の方向性などを打ち合わせしている。(2)	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	・基本当日に実施、難しい場合も近日常に行っている。 ・訪問後には必ず打ち合わせを行い、訪問先や保護者へ伝えることなどが共有できるようにしている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	15	0	・園の取り組み、理念を調べた上で、訪問を開始し、方針に沿った支援を心がけている。 ・訪問後の懇談で、訪問先の思いをお聞きして、より良い支援につながるようになっている。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	15	0	・訪問記録、面談記録、支援の様子を写真も取り入れて記録し、検証改善に努めている。 ・訪問記録や、懇談内容（訪問先、保護者）の記録を作成して、支援の検証、次回訪問の改善につなげている。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・半年に一回実施している。 ・毎訪問後には訪問先、保護者との懇談を実施して、確認、見直しができる機会をもうけている。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	・児童発達支援管理責任者や訪問担任職員などが参画するようになっている。	
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	・必要に応じて、共有し連携している。 ・訪問状況や必要に応じて連携ができるようになっている。	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・訪問先や保護者から、移行先へ情報共有を図っていただけるようになっている。 ・電話や書面で情報共有を行なっている。	
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13	1	・施設内、専門職やスーパーバイザーにアドバイスをもらい、支援に繋げている。 ・オンライン含めいろいろな研修を受ける機会がある。	
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	1	・あまっこ部会（自立支援協議会 子ども部会）に担当者が参加している。	
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	・訪問前に連絡をし、近況を確認したいことをうかがっている。また訪問後に来園していただき、面談を行っている。 ・訪問先と保護者が日頃の様子の共有、また共通理解ができるように支援している。	
26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	・園内や市で行われる研修の紹介をしている。 ・就学時には、あまっこファイルについての説明や書き方研修の情報提供をしたり、参加可能な研修の情報提供をしたりしている。		
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・訪問支援開始前に必ず説明している。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	15	0	・訪問支援開始前に必ず説明している。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・事前に懇談をとり確認している。(2)	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	15	0	・支援計画を説明するための面談を実施し、説明、同意を得ている。 ・訪問支援開始前に確認していただき同意を得ている。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・期間があくときは、訪問に関わらず連絡をとり、姿の共有に努め、相談に応じている。 ・訪問後の懇談でお聞きしている。必要に応じて電話でその後の経過などお聞きできるようにしている。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	4	・保育所等訪問支援単独での保護者会はないが、児童発達支援の親の会研修の案内を行っている。	・きょうだいの交流機会はない。
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・体制を整え、適切に対応している。	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	・今年度よりInstagramにて、児童発達支援センターとしての発信をスタートさせている。 ・訪問後には、書面にて確認ができるようになっている。(訪問時の様子、様子の写真など)	
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・留意している。	
36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・保護者やおこさんに応じた対応を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	15	0	・事前連絡をとったり、訪問まで期間が開くときは、連絡をとりこどもの様子を共有したり相談に応じている。 ・訪問後には必ず懇談を実施している。 ・訪問の振り返り時や電話等で行なっている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	15	0	・別途時間を設け、訪問支援の振り返りを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	15	0	・実施後、保護者と面談し支援内容を共有している。 ・保護者との懇談内容なども伝え、訪問先施設と共有できるようにしている。 ・懇談、電話等で行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	15	0	・質問には、具体的な提案ができるように努めている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	・児童発達支援センターとしてのマニュアルは、作成している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	・児童発達支援センターとして、安全計画を作成している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	1	・全体周知をして、対策などを考えられるよう訪問先に助言している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1	・虐待や身体拘束を防止できるよう、支援を工夫している。 ・職員研修や、日々の話し合いの中でも適切な対応を話しあっている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	1	・必要な場合は記載している。	